

令和 2 年 6 月 6 日

販売店様各位

『次亜塩素酸水』の報道に関する見解書

キスリー商事株式会社
代表取締役 森久康彦

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、独立行政法人製品評価技術基盤機構（以下、NITE という）様から発表されました新型コロナウイルスに対する『次亜塩素酸水（HClO）』の有効性に関する報道を受け、『亜塩素酸水（HClO₂）』を原料にした各種製品類に対する問い合わせが急増しております。

貴社でお取り扱いいただいております【クロラス除菌ウォーター】は、今回報道されている『次亜塩素酸水』が主成分ではありませんことを、改めてお知らせいただきますとともに当該製品の効果・特徴について、下記に、ご案内申し上げます。

<新型コロナウイルスに対する効果について>

亜塩素酸水の新型コロナウイルスに対する有効性の実証は行われていないため、効果ありとは謳えません。但し、亜塩素酸水は、大別される4種類のウイルス（RNA型・DNA型／エンベロープ有り・無し）に対して効果を示しているため、効果が期待できるということは申し上げることができます。

現在、この分野の専門部門を持つ大学で、新型コロナウイルスでの不活化試験を申し込んでおり、順番待ちの状況です。結果が出次第、情報を公開する予定です。

<手指への使用について>

薬機法へ抵触するため手指に対する有効性や消毒や殺菌という表現は使用できませんが、当該製品を手指にご使用いただくことに問題は御座いません。

殺菌や消毒の目的ではなく、除菌としての使用には問題ないをご判断ください。アルコールは、水に希釈されてしまうと、除菌効果が大幅に減衰します。手洗いをした後に、よく乾燥して使用することが原則です。ハンカチやタオルで拭き取ったあとで、塗布することになります。

亜塩素酸水は、少々水で希釈されても、除菌効果が得られます。さらに、食中毒の原因の50%近くを占めるノロウイルスに対して、明確な不活化が確認されております。一般的なアルコールには、その効果がありません。不活化効果を持っているアルコール製剤はありますが、高コストとなっております。

40倍希釈で使用するには、一般的なアルコール製剤よりも大幅にコストが低い点も、お勧めしているポイントになります。

<噴霧（吸入毒性）に関する安全性について>

食品に対する利用方法として、噴霧は認められている他、「ラットを用いた吸入毒性試験を実施しており、400～600ppm の濃度において毒性学的影響は認められなかった。」という実験結果が出ております。

現在、ラットを用いた吸入毒性視点を元に、人間の呼吸量に換算した数値としての見解をまとめております。別途、ご報告します。

<商品情報>

1. 商品名

クロラス除菌ウォーター8000ppm 食品添加物：亜塩素酸水製剤

2. 製法・原料

各原料は、食品添加物規格の原料を使用しているため第9版食品添加物公定書に記載されている製法に準じて作られたものを使用しており、これを以下の配合比で配合されたものが「クロラス除菌ウォーター」となります。

亜塩素酸水（40,000ppm 品）20.00%、リン酸二水素ナトリウム 1.00%、リン酸二水素カリウム 1.00%、イオン交換水 78.00%

3. 液性・含量

液 性 : pH5.5±1.0

含 量 : 8,000ppm

使用方法：用途に合わせて 20～80 倍に希釈

使用期限：出荷日より 360 日間（製品裏面に記載）

4. 有効性の根拠と試験

亜塩素酸水の有効性については、添付「殺菌データ」及び「亜塩素酸の殺ウイルス活性についての解析」を、空間除菌における有効性については、添付「空間除菌テストレポート」を参照願います。

5. 安全性の根拠と試験

液剤の安全性は、SDSに記載されている通り、動物実験において毒性や刺激性は認められておりません。

試験項目	結果
急性経口毒性	GHS 区分外（安全性が高い）
皮膚刺激性	GHS 区分外（安全性が高い）
皮膚感作性	GHS 区分外（安全性が高い）
目刺激性	GHS 区分外（安全性が高い）

なお、空間噴霧の安全性については、前述の通り、ラットを用いた吸入毒性試験にて、400～600ppmの濃度において毒性学的影響は認められておらず、空間噴霧における推奨濃度は200ppmとしております。

6. 使用上の注意

製品ラベルに記載の通り（以下抜粋）。

- ・必ず当製品（液剤）単体でご使用ください。酸性タイプの液剤と混ざると、有毒な塩素ガスが発生して危険です。
- ・ステンレス以外の金属製品、鏡、衣類など繊維に本品が付着したままにしておくと、サビや変色及び脱色等が発生する恐れがありますので、ご注意ください。

7. その他

本製品は「亜塩素酸水」を有効成分とする製剤であり「次亜塩素酸水」や「次亜塩素酸ナトリウム」とは異なります。下記に各液剤の特性を記載します。

分類	次亜塩素酸ナトリウム (次亜塩素酸ソーダ)	微酸性電解方式 (次亜塩素酸水)	pH調整混和方式 (次亜塩素酸水)	強アルカリ性電解水	クロラス除菌ウォーター (亜塩素酸水)
化学式	<u>NaClO</u>	<u>HClO</u>	<u>NaClO+HCl</u>	<u>HClO</u>	HClO ₂
pH	8.0～11.0	5.0～6.5	5.0～6.5	12.0～13.0	5.5～6.5
使用時の濃度	50ppm～200ppm	10ppm～80ppm	50ppm～200ppm	—	50ppm～200ppm
溶液の安定性	不安定 次亜塩素酸水よりは、安定	不安定 実質使用で1ヶ月間	不安定 実質使用で1ヶ月間	不安定 実質仕様で1ヶ月間	高いレベルで安定 消費期限は、1年間
主殺菌物質	遊離次亜塩素酸	遊離次亜塩素酸	遊離次亜塩素酸	OHラジカル	亜塩素酸（クロラス酸）
殺菌力	アルカリ性領域では殺菌効果が低い (芽胞菌への効果は薄い)	比較的低い有効塩素濃度でも殺菌効果を示す	比較的低い有効塩素濃度でも殺菌効果を示す	殺菌効果は見られるが、油脂洗浄としての用途が多い	殺菌力に持続性がある (芽胞菌にも効果する)
有機物下の効果	有機物（汚れ）に反応し、除菌効果が得られない	有機物（汚れ）に反応し、除菌効果が得られない	有機物（汚れ）に反応し、除菌効果が得られない	洗浄効果を有しており、除菌効果が得られる	サイクル反応により、有機物存在下で、除菌効果が得れる
金属腐食性	腐食性が高い	鉄、真鍮は錆びが起こる。ステンレスには影響が小さい	鉄、真鍮は錆びが起こる	腐食性は低い	腐食性は低い SUS304は、錆びない
危険性	高濃度で使用すると、人や環境への影響がある。手荒れなどがおこる。	塩素ガスの発生はほとんど無い	割合を間違えると塩素ガスを発生 (塩素中毒症状)	手荒れなどが起こるため、 使用時に注意が必要	高濃度で使用しても、人や環境への影響が少ない。手荒れしない。塩素ガスの発生はほとんど無い
クロロホルムの生成	有機物と接触するとクロロホルムが発生	有機物と接触してもクロロホルムが発生しにくい	pH6.0以上で発生可能性がある	有機物と接触してもクロロホルムが発生しにくい	有機物と接触してもクロロホルムが発生しにくい
残留物	<u>NaCl</u>	微量のHCl	微量のHCl NaCl	微量のHCl	測定加減以下のNaCl
適用法規	食品添加物	食品添加物	食品添加物ではない	水酸化ナトリウムと同じ扱い	食品添加物
使用基準	規定無し (ごまに使用不可)	食品に添加後の最終工程で、洗浄及び分離が必要	—	—	食品添加物として使用する場合、上限400ppm
推奨内容	使用不適	使用可 除菌効果は、使用者判断	使用不適	使用不適	使用可（推奨） 除菌効果を確認済み